

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
ごチェアは組立式になっておりますので、下記のを領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

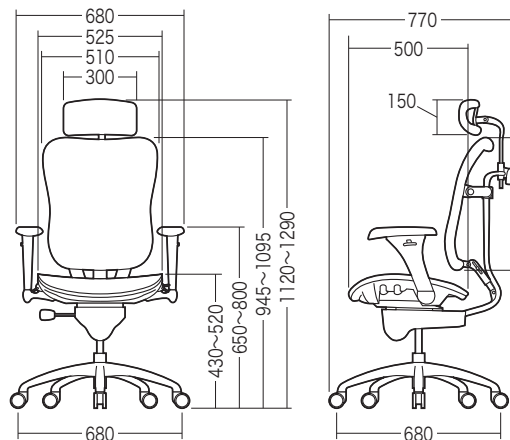
**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

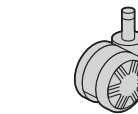
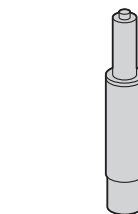
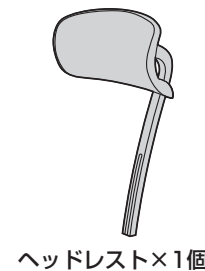
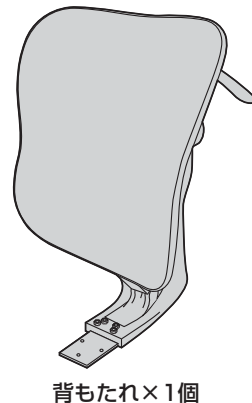
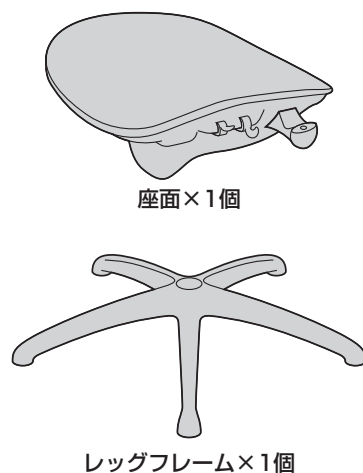
★用意していただくもの・・・

手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

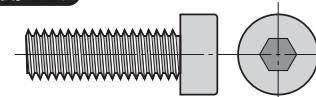
完成図



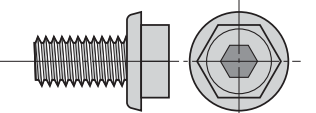
組立て部品



使用ボルト



ボルトA×2本 (M8×25)



ボルトB×3本 (M8×15)

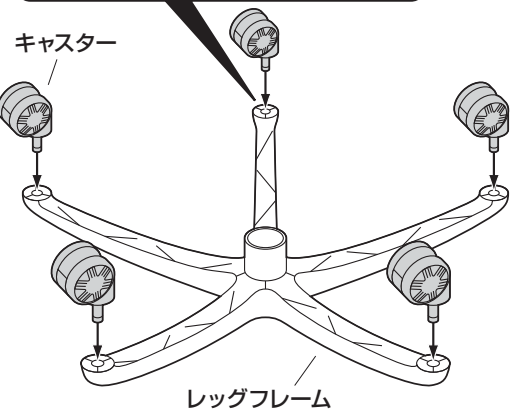


六角レンチ×1本

1 レッグフレームをひっくり返し、 キャスターを取付けます。

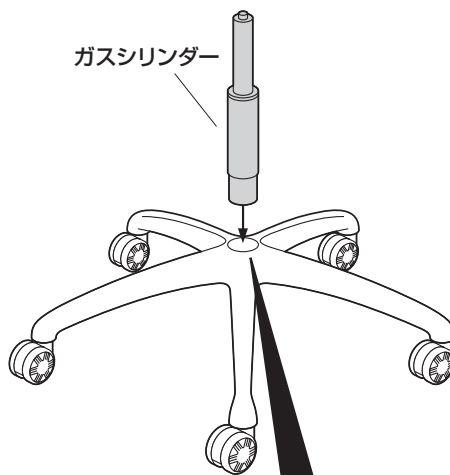
▲ 注意 ▲

それぞれのキャスターは全て圧入です。
(手ではめこむ) カチッと音がするまで、
確実に圧入します。



2 レッグフレームにガス シリンダーを取付けます。

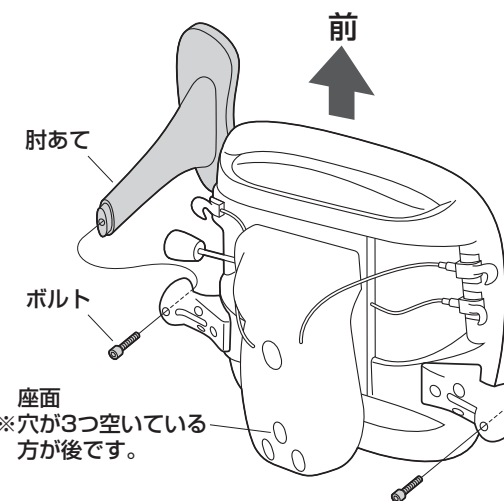
ガスシリンダー



▲ 注意 ▲

ガスシリンダーが後で
抜ける事の無い様に、
押し込みます。

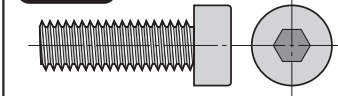
3 座面を立てた状態で肘あてを取付けます。



横から見た図
座面を下図の様に立てた
状態で取付けます。



使用ボルト

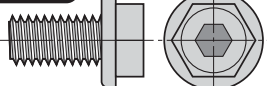


ボルトA (M8×25)

4

座面に背もたれを取付けます。

使用ボルト



ボルトB (M8×15)

背もたれを差し込んでからボルトで締めつけます。

ボルトB
※全てのボルトを
緩めに取付けて
から強く締めつ
けます。

背もたれ

横から見た図

座面を下図の様に
立てた状態で背も
たれを取付けます。

拡大図

座面の金具の下図の
位置に差し込みます。

突起

前

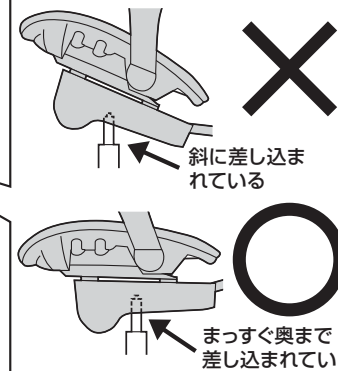
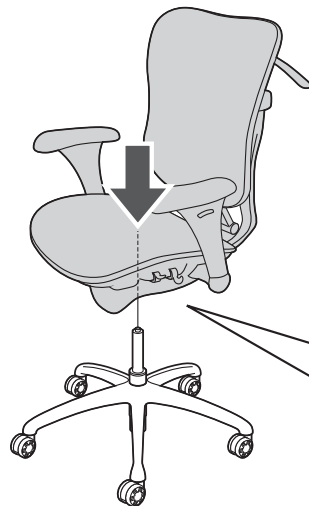
前

5

ガスシリンダーに座面を差し込みます。

⚠ 注意 ⚠

座面をガスシリンダーにまっすぐ奥ま
で差し込んでください。
座面が斜に差し込まれていると、奥
まで差し込まれず、ガスシリンダーが
正常に作動しない場合があります。

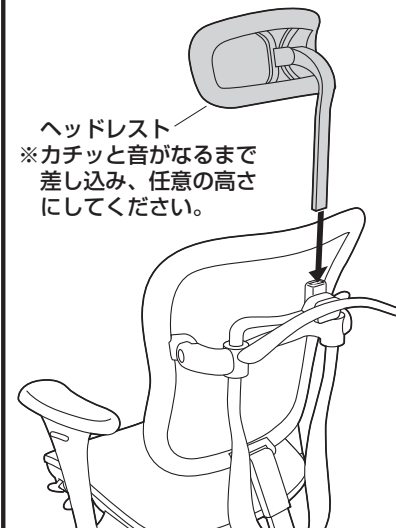
まっすぐ奥まで
差し込まれている

6

ヘッドレストを取付
けて完成です。

ヘッドレスト

※カチッと音になるまで
差し込み、任意の高さ
にしてください。

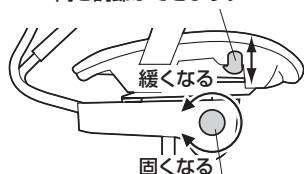


各部の調節方法

<上面>

肘あての角度を3段階
で調節できます。

<正面>

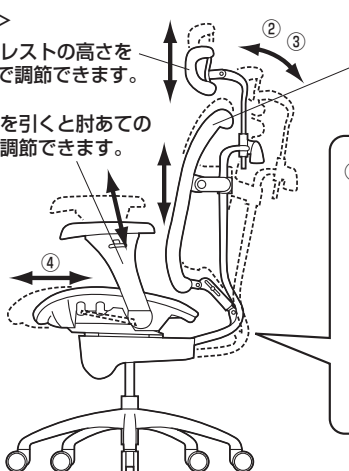
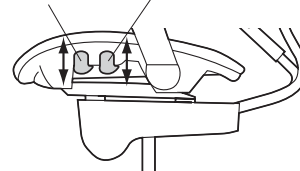
①レバーを上げると座面の
高さ調節ができます。

緩くなる

固くなる

②ツマミを時計回りに回す
とロックが固くなり、
反時計回りに回すと緩く
なります。

<側面>

ヘッドレストの高さを
7段階で調節できます。レバーを引くと肘あての
高さを調節できます。背もたれの高さを5段階で調節できます。
一番上まで上げた状態でさらに持ち上げると
下げることができます。③レバーを下げると
ロック機構が
働き、上げると固
定されます。④レバーを上げると
座面の前後調節が
できます。

チェアの品質表示

外形寸法：幅680×奥行770×高さ1120～1290mm
(座面高さ430～520mm)

構造部材：座部・背もたれ部・ヘッドレスト部/ポリプロピレン 脚部/アルミ
肘あて部/ポリプロピレン、スチール キャスター部/ウレタン、スチール
張り材：ポリエステルメッシュ クッション材：ウレタンフォーム

⚠ 使用上の注意 ⚠

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
- 滑りやすい床面で使用しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
- ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
- 座面の上に登らないで下さい。転倒の原因になります。
- 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
- 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
- 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
- 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
- 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。

※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。